



発行所 株式会社 水産タイムズ社  
 編集発行人 越川宏昭  
 〒108-0014 東京都港区芝5-9-6  
 TEL 03(3456)1411 FAX 03(3456)1416  
 ホームページ <http://www.suisantimes.co.jp/>  
 e-mail [reisyoku@suisantimes.co.jp](mailto:reisyoku@suisantimes.co.jp)  
 日刊(但し土・日曜・祝祭日休刊)  
 購読料 1ヵ月 4,800円 6ヵ月 28,800円(税別)

2020年(令和2年)  
 7月9日(木)第8220号

## ヤヨイサンフーズ、前期売上げ1.6%減364億円

ヤヨイサンフーズの前3月期売上げは前年比1.6%減364億1000万円となった。営業利益は3.8%増5億5000万円。

黒本聡社長は8日の会見で「(増益となったが)当初の計画とは大幅にかい離した。前期は自然災害などが多く市場の冷え込みがあった上に自社工場の稼働率が減少して収益的にも厳しかった。経費が上がるのはわかっており、昨年4月に主力商品を値上げしたものの、稼働減をカバーできず利益はほぼ前年並みだった」。



黒本社長

商品面ではCVS向けのコロッケでブランドチェンジがあり、大手弁当チェーンがクリームコロッケ・メンチカツを内製化した影響があった。さらに、3月に学校給食がほぼなくなり、第4四半期に減速した。

市場別では、売上げ構成比6割を占める中食が5%減。「量販惣菜はそこそこだったが、ポテト・クリームコロッケの減少が大きく影響した。CVSルートは2%減、テイクアウト28%減、宅配5%減となった」(同)。

給食市場は1%増。「学校給食は6%減。2月までは良かったが、3月はほぼ出荷がなくなった。産業給食は2%減。3月にユーザー

である工場等がかなりの部分稼働をしなかったこともある。施設給食は11%増、病院は4%増と、病院・施設は好調だった」。

外食は6%増と伸びた。

### 4～5月の学給75%減も6月回復傾向

新型コロナ禍については「全ての市場で影響が出ているが、一番大きいのが学校給食。4～5月の学校給食は前年同期の25.6%だった。しかし、6月になって地域によっては前年以上のところもあり、比較的回復は早いとみている。飲食店は前年の45.6%。すぐには回復しないだろう」(同)。

6月に回復傾向が見られたこともあり第1四半期はトータル10.3%減で推移した。

### 九州の豪雨、大牟田の工場は被害なし

九州地区を中心とした豪雨の影響で、同社の九州工場(第一、第二)は7日に1日だけ稼働を停止したが、8日からは再開している。

同工場は大牟田市の高台にあり大きな被害は報告されていないが、一部従業員の通勤に支障があった。「自宅に帰れず工場に宿泊した人もいた」(同社)。

五洋食品、タイで洋菓子現地生産……………	2
QP「業務用回復進むも首都圏に遅れ」	
北米卵会社譲渡で経営負担軽く……………	2
アヲハタ上期、家庭用堅調で大幅増益……………	2
鳥貴族、6月は大幅回復……………	2
北沢産業、2層式フライヤー発売……………	3
ケンコー、トリュフのマヨソース発売……………	3

豪雨被災地の食品表示弾力運用、農水省……………	3
大和ハウス、物流施設の開発予算増額……………	4
日水、カートン小型化で積載効率アップ……………	4

### あしからず

結果は厳しいが、私はめげてません! … 4